

「5. 主な支援・指導経過記録」－会話記録スタイル（逐語録）の形式 イメージ例

～ 中央法規出版「介護支援専門員現任研修テキスト」第4巻より（一部改変）～

発言者	逐語（会話）記録
バイジー	Eさんご家族のことで相談があるのですが、時間を取ってもらえますか？
主任 CM	はい、解りました。それでは今から相談を伺いましょう。
バイジー	有難うございます。今日、Eさんの自宅に訪問したモニタリングをしてきました。その中で、同居された長女さんの様子を見て支援が難しいと思ったので、相談したいと思います。
主任 CM	Eさんの長女さんは最近同居を始められたのでしたね。どのようなことが難しいと思いましたか？
バイジー	はい。Eさんはもともとアルツハイマー型認知症でしたが、脳梗塞を起こして認知症が進行しました。同居の夫に対するもの盗られ妄想が激しくなりました。その頃から90歳の夫も物忘れが目立つようになってきたのです。 そんなご両親の様子を心配されて、長女さんが同居することになったのです。その長女さんの様子が気になります。
主任 CM	長女さんの様子が気になるのですね。長女さんはどのような様子でしたか？
バイジー	長女さんが同居を始められた時に、モニタリング訪問をしました。その時に認知症の人の介護で気を付ける事など、私に尋ねられ、ご両親の介護を真剣に考えておられた様子でした。 ご両親の介護を担う上で、解らない事を知りたいという思いが強かったのだと思います。私も、認知症に関する情報や介護で気を付ける事など、知っている限りを伝えました。
主任 CM	同居を始められたときに認知症に関する事を、あなたに色々質問されたのですね。長女さんは認知症という病気をどの程度ご存じだったのでしょうか？
バイジー	Eさんのご近所とのトラブルや金融機関とのトラブルが長女さんの耳に入り、夫婦のみの生活は困難だと判断した結果、急いで同居された経緯があります。 【少々間をおいて…】認知症の症状を目の当たりにして困惑されたのだと思います。私の感触として、長女さんは認知症についての理解は殆どなかったと思います。
主任 CM	長女さんの置かれている立場や気持ちをよく理解していますね。
バイジー	はい。ご両親二人の介護を一人で担うという事は大変だと思います。初回訪問の時の長女さんは、生き生きとした表情で話をされていました。2か月経った現在の表情は硬く、活気がないように見受けられました。私が訪問している時にも言葉数が少ないと感じたのです。長女さんに介護疲れが出てきたのでしょうか？

主任 CM	<p>そうですか。表情に変化が見られたのですね。表情のほかに変わったところはなかったですか？また、長女さんに介護疲れはないのか直接聞いてみましたか？</p>
バイジー	<p>疲れが出ていないのか、長女さんに聞いても大丈夫でしょうか？ <b>【戸惑った様子で…】</b> 長女さんに聞いてみて介護疲れが出ていますと言われたらどうすればよいのでしょうか？</p> <p>Eさんは週3回通所介護を利用しているので、利用日は長女さんが休息できていて、介護疲れの軽減が出来ていると思いましたし。</p>
主任 CM	<p>長女さんはご両親と同居してから生活環境が大きく変化しました。Eさん自身も長女さんが同居となったので生活環境が変化していますね。介護保険サービスを利用すれば全てが解決するという事ではないのです。何が必要なのでしょうか？次のモニタリング訪問の際には、長女さんに聞き取らなければならない内容を考えて再度アセスメントしてみてもどうでしょうかね。長女さんに、どのようなことを聞けばよいのでしょうか？一度考えてみてください。</p>
バイジー	<p><b>【頷きながら…】</b> 解りました。長女さんに、生活環境が変化したことについてどのように思っておられるのか、聞き取りをしたことがありません。2か月経って、辛いと感じている点や、上手くいっている点などを聞き取り、再アセスメントをしたいと思います。</p>
主任 CM	<p>Eさんには長女さんという介護者が必要です。介護者が介護疲れのために倒れてしまうことがないように、長女さんに対する精神的な支援が重要だと思います。長女さんに対して具体的にはどのような支援が必要なのでしょう？</p>
バイジー	<p><b>【顔を上げて…】</b> はい。長女さんの様子を見て支援が難しいと思っていましたが、再アセスメントを行い、具体的な家族の支援の方法についてもっと何かあるのか考えます。</p>
主任 CM	<p>それでは、また来月のモニタリング訪問の後に結果を聞かせて下さい。</p>